



▲防災資機材用具の確認

自らの地域は自らで守る [朝宮自治振興会]

朝宮自治振興会では、1月16日に指定避難所である朝宮小学校敷地内に防災倉庫が設置されました。防災資機材用具を含め、甲賀市自主防災総合補助金を受け整備されました。

昨年11月には自主防災隊が組織され、地域防災計画を策定し防災意識の向上と地域防災力の強化が進められています。

地域の安心安全に向けた積極的な取り組みが今後も広がっていけばと思います。

あそびの広場開催

1月16日、土山中央公民館において、「あいの土っこぎらねっ人」の子ども公民館講座が開催されました。



▲開催されたサロンの様子

▶かるた取りに熱中する子どもたち

初めての試み 第一回やま づきぎサロン [佐山地域市民センター]

昨年11月、老人福祉センター佐山荘、佐山学区自治振興会主催「第一回やま づきぎサロン」が開催されました。

佐山小学校区内4自治会が、日頃の自治会ごとの高齢者向けサロンを学区全体で行う初めての試みとなりました。

当日は、甲賀北保育園の園児と学区内の高齢者、スタッフ合わせて115人が集い、広い和室が満員となる大盛況の交流会となりました。園児による歌や組体操、各自治会スタッフによる楽器演奏などで、楽しいひと時を過ごしました。



▲歌に合わせて保育園児が肩たたき

「かしわぎ☆サロンナイン」で話の花を咲かせましょう [柏木地域市民センター]

地域の方の憩いの場、ふれあいの場として、コミュニティサロン「かしわぎ☆サロンナイン」が、柏木公民館ロビーで、毎週木曜日10時から12時まで開催されています。

サロンでは、思い思いにおしゃべりしたり、希望者は、月替わりで季節のざり作りなどの体験をしたりと情報交流の場、地域のつながりの場になっています。

これからも、地域のみなさんが気軽に立ち寄れる場所としてサロンが定着していくことを願っています。



▲開催されたサロンの様子

こうかまちかど特派員



谷井 肇子

まちかど

特派員のページ



▲ギャラリースペースにある「さをり織り」



▲ギャラリースペースに並ぶ信楽焼

「ぼんた焼」は青年寮のオリジナル商品で、たい焼きの理型版です。注文を受けるとその都度、「みどりの家」担当職員の木下恭子さんが焼いてくださいます。1個100円。持ち帰り可。



▲「ぼんた焼」はあんとカスタードの2種類

「みどりの家」のギャラリースペースに並ぶたくさんの作品は、どれも「青年寮」の利用者さんが丹精込めて作った物ばかり。アート性に心ひかれる品も多く、見ているだけでも楽しいし、購入することで利用者さんへの支援となります。

「みどりの家」のギャラリースペースに並ぶたくさんの作品は、どれも「青年寮」の利用者さんが丹精込めて作った物ばかり。アート性に心ひかれる品も多く、見ているだけでも楽しいし、購入することで利用者さんへの支援となります。

誰でも持つ願い

恵まれた自然の中を散策したついでにでも、気軽に立ち寄れる温かなお店です。障がいのある無しかかわらず、人は誰でもいくなつても、人から与えられるだけではなく、池田氏の言われたように、人のために働きたい、という願いが心の奥底にあるのではないかと思います。それに気がかれ、自分もまた頑張ろうと励まされる場でもあります。

紫香楽の里にある ギャラリー喫茶「みどりの家」

松林に覆われた丘陵地に残る紫香楽宮跡のすぐそばに、社会福祉法人しがらき会「信楽青年寮」が運営しているギャラリー喫茶「みどりの家」があります。安らぎとわくわく感のミックスされた、この素敵なお店を紹介します。

緑の中の「みどりの家」

紫香楽宮跡は天平時代に聖武天皇が遷都した紫香楽宮の跡として、国に指定された史跡です。辺りは幹線道路を外れた静かな住宅地で、森や林、田畑が遠く近くに続く緑豊かな場所です。その名のとおり、まさにこの緑の中に「みどりの家」は建っています。この店ではコーヒーなど喫茶を楽しめるだけでなく、ギャラリースペースには「信楽青年寮」の利用者の方々が作った陶器や和紙、さをり織りなどを見て購入することもできます。

信楽青年寮

ここを運営している「信楽青年寮」は、昨年60周年を迎えた知的障がいのある成人の方への支援を行っている施設です。施設長の上田清樹さんにお話を伺ったところ、「青年寮」の創設者池田太郎氏は、この方たちは「働きたい」「無用の存在でなく、有用の存在であると思われたい」と願っている、その願いを叶えることが、この使命であり目標であると考えられたそうです。障がいを持つ人を保護するだけでなく、自立を支援する精神が今も変わらず息づいていることを、取材しながら強く感じました。



▲「みどりの家」の外観